

のり海況速報 第8報 (26-8)

平成27年 1月 8日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 1/7：内湾(ふさなみ)、内房北部(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(12/23-1/8)、東京湾口海況図(12/23-1/8)
 自動観測ブイデータ(12/23-1/8)、拓南観測データ(12/23-1/8)
 モニタリングポスト(1/7：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温(図1)は前回(12月19日)より約1℃下がり、7日現在おおむね9～12℃台になっています。塩分はほぼ31～33台で、依然平年より高めになっています。
- ・調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(図2)では、水温・塩分とも表層から水深20m付近までは一様に分布しています。
- ・内房北部の表層水温はほぼ12～13℃台になっています。
- ・東京湾口への沖合水の流入は12月19日頃から断続しており、8日現在水温15℃台の水塊が金谷から久里浜ライン付近まで及んでいますので、この動きには注意が必要です。

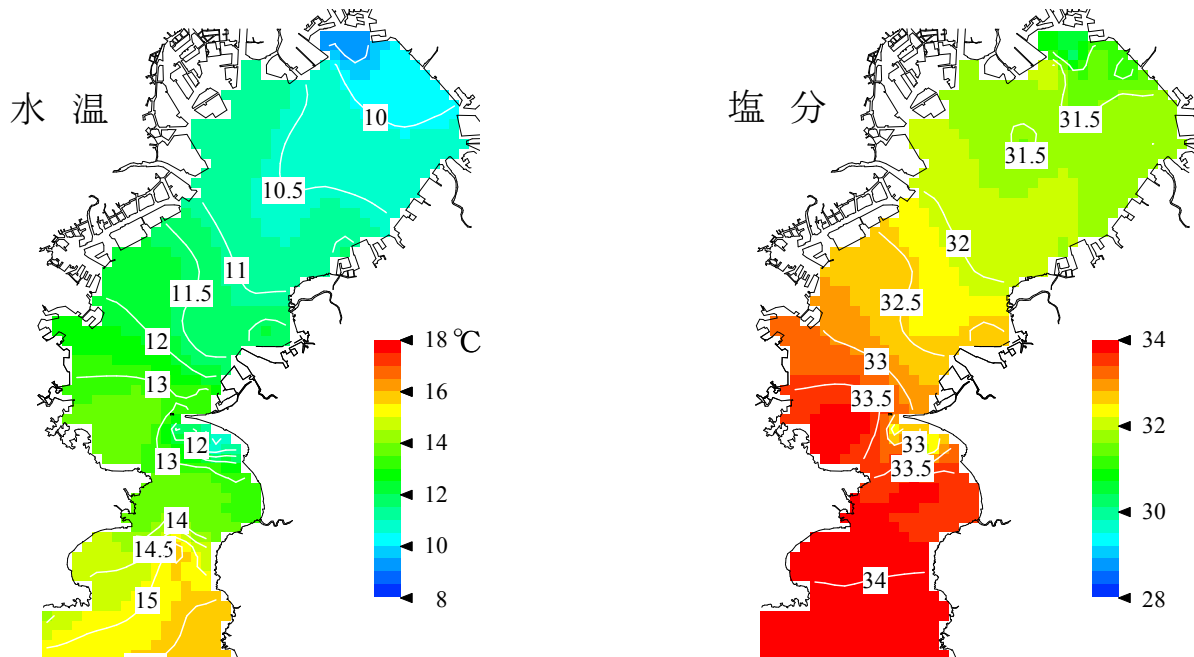


図1 表層の水温・塩分の分布(平成27年 1月 7日)

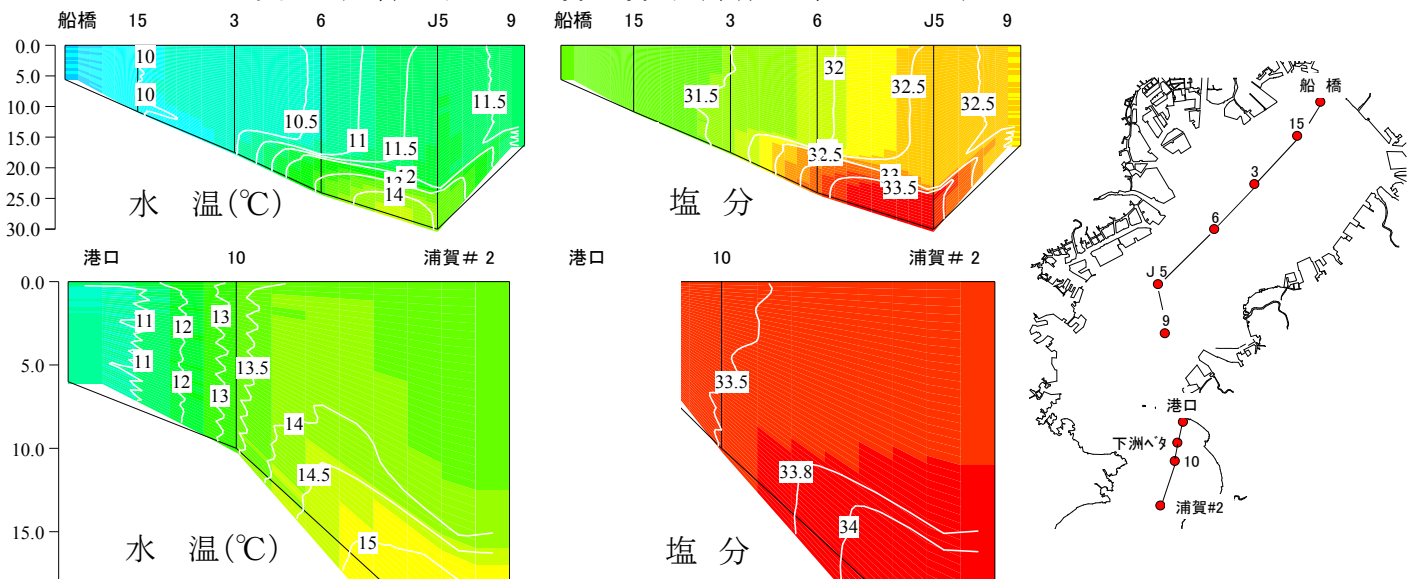


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成27年 1月 7日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮は全域で発生していませんでした。
- ・一旦、増加し始めたプランクトンは少なくなり、船橋から千葉にかけての沿岸でケイ藻のスケレトネマやタラシオネマなどがやや多くみられる程度でした。
- ・透明度は千葉北部地区のノリ漁場付近で2m前後まで低下、水色もやや褐色を帯びていました。その他の海域では、時化による濁りでやや低いところがみられたもののおおむね4m以上あり、水色はほぼ黄緑色でした。
- ・表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)・リン(DIP)とも十分あり、いまのところのり養殖にとって問題ない濃度です。

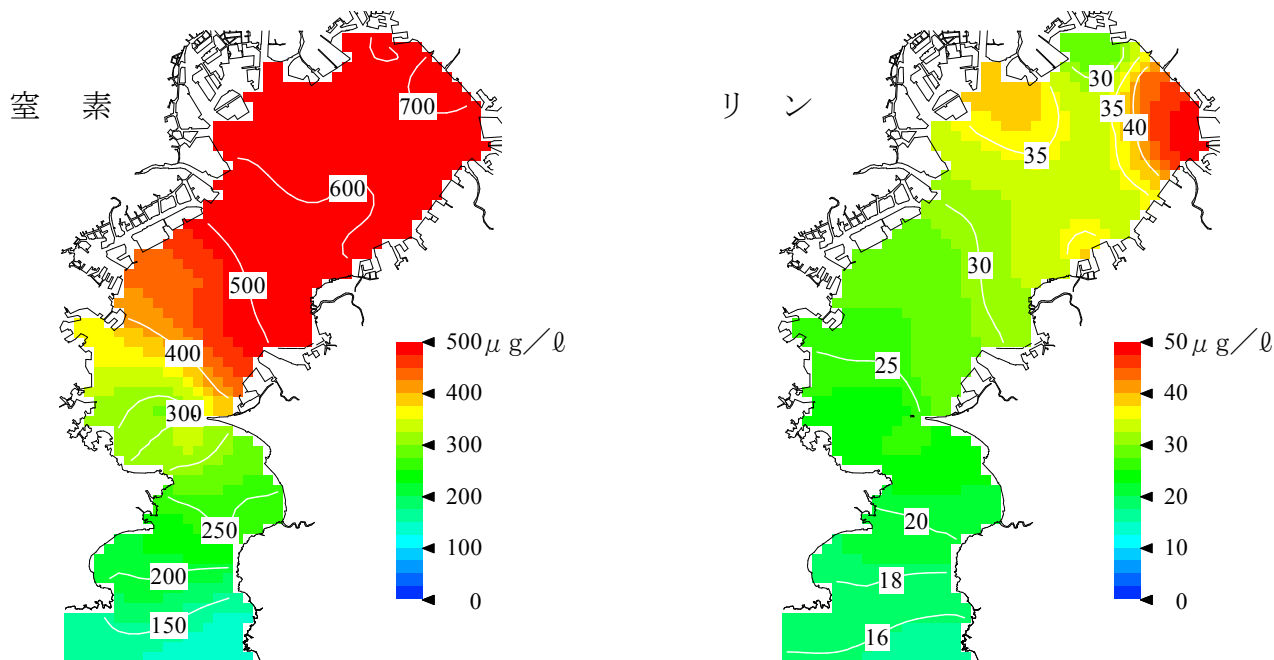


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成27年 1月 7日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html